

神戸商工だより

2021 **3**
vol.778

昭和45年7月20日第三種郵便物承認 令和3年2月25日発行 (毎月25日発行)

▶特集

都心部の交流拠点・
シェアオフィスのこれから

新型コロナウイルス感染症に関する
政府・自治体の主な支援策

頑張る社長を
応援します!

当商工会議所では、各地区に経営指導員を置き、小規模事業所の様々な経営相談に応じています。経営指導員と2人3脚で頑張る事業所を紹介します。

異業種
交流
専門家
派遣



ハートフードクリエイティブ株式会社

代表取締役／CEO 西脇 章氏

心を込めた「給食・外食・スイーツ」で
安心安全を届ける
食のテーマパーク構想で新たなステージへ

DATA 事業内容：給食・外食事業ほか
所在地：神戸市東灘区御影石町4-15-15
電話：078-891-5401 <https://www.heartoss.co.jp/>

給食、外食、スイーツ、と食に関わる3つの事業を展開する。

給食事業の提供先は幼稚園や保育園、支援学校に限定し「安全で栄養のある食事で子どもたちに成長してほしい」と西脇社長は語る。そのもう一つのねらいは「学校給食であれば基本は平日のランチのみの提供になる。残業も少なく土日祝日に休めることで社員らの働き方にもメリハリがつきより手間をかけて、心を込めて食事を作ることに集中できるから」だ。近年は幼保一体化の流れや、給食の提供で差別化を図る幼稚園も増え、委託先を順調に増やしている。

外食事業では、神戸市内や兵庫県内から仕入れた有機栽培野菜などを使ったヘルシーレストラン「神戸食堂はあとす。」を神戸ハーバーランドで運営するほか、兵庫県庁でも県産食材を使った食堂の運営を行う。また、スイーツ事業はパティシエなど人手不足に悩むホテルのニーズを捉え、ホテルで最終仕上げができる半製品のスイーツを提供するほか、ギフト用スイーツをOEMで製造している。自社ブランドのスイーツを手がけたいとの思いも実現させ、2020年12月にスイーツショップ「旬の音/TOKINONE」を御影にオープン。焼きたてパイの専門店、旬の果物を使ったコンフィチュールや淡路島で採れる天然の日本はちみつなど、素材や手作りにもこだわっている。

2012年に神戸商工会議所が実施した商農工連携事業に手を挙げ、米粉などを使ったアレルギーフリーのスイーツを開発。その縁で兵庫県内の農家と太いパイプを作ることができたという。その後も経営指導員からは事業のマッチング先を紹介されることが多い。2021年6月までに全食品関連事業者にHACCP対応が義務化されるにあたり、自社の取り組みが基準を満たしている



スイーツショップ「旬音」は、旬の材料を使うことで季節の移り変わりを感じられるように、という思いで名付けた

か確認したいと専門家派遣制度も活用した。「当社に必要な情報を吟味して持ってきてもらえる。会議所はとても心強い存在」と西脇社長は話す。コロナ禍で給食事業は2カ月ほど停止せざるをえなかったが、「改めて『美味しかったよ』と言ってもらえるありがたさを知った」と話す。給食に使う食材やおかずを園で販売したところ保護者から非常に好評だったこともあり、アプリ上で事前予約し子どもの送迎時におかずなどを持ち帰ることができるサービスを検討中だ。また「自産自消」を目指し、淡路島に2024年1月完成予定の自社農場の整備も進めている。野菜や果実の栽培を自社で行うとともに、平日は農業体験を含めた研修を行い、週末はレジャー目的の家族連れを受け入れる「食のテーマパーク」の構想も温めている。安心安全な食の楽しみを提供したいという思いはとどまるところを知らない。

〈小山指導員より〉10年前に初めて仕事を一緒にさせていただきましたが、お会いするたびに新しいことに挑戦し、事業を広げておられます。コロナ禍でも前向きなチャレンジを続ける西脇社長を今後もしっかりサポートしていきます。